国土強靱化 取組及び効果発現事例

令和5年台風第7号関係

~中丹•丹後版~

令和5年10月

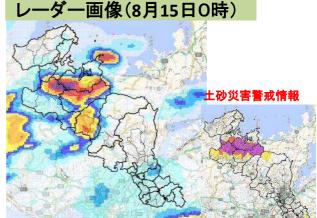


•

令和5年台風第7号による大雨の状況

- 〇8月15日の13時頃に近畿地方に上陸した台風第7号の影響により、京都府では各地で大雨が降り、 特に福知山市、舞鶴市及び綾部市では1時間に約100ミリの記録的短時間大雨情報が計9回発表 された。
- 〇大雨の影響により三市を中心に、床上、床下浸水や道路の土砂崩れによる孤立集落が発生した。
- 〇府内道路(国、府、市町村管理)で約70箇所の通行止めが生じ、府民生活に多大な影響を及ぼした。

総雨量等雨量線図(8月14日~16日) | 大雲橋(福知山市) | 総雨量376mm 最大時間雨量79mm | 最大時間雨間70mm | 最大時間雨間70mm | 最大時間70mm |





公共土木施設の被災状況

単位:千円

人的被害•住家被害

箇 所 金 額 市町村別	総被害額		左 の 内 訳					
			河川		道路		その他(橋梁等)	
	箇所	金額	箇所	金 額	箇所	金 額	箇所	金 額
府 補助災	90	1, 598, 700	64	1,080,200	25	443, 500	1	75, 000
(単災)	(208)	(732, 280)	(88)	(310, 950)	(112)	(363, 230)	(8)	58, 100
府 合計	298	2, 330, 980	152	1, 391, 150	137	806, 730	9	133, 100
市町村補助災	138	1, 100, 900	77	689, 500	59	395, 400	2	16, 000

(9月25日現在)

区 分	内 容
人的被害	軽傷者 6名
住家被害	全壊 12棟 半壊 12棟 一部浸水 79棟 床上浸水 289棟 土砂流入 6棟 その他被害 4棟
非住家被害	305棟



(主) 綾部大江宮津線 (福知山市大江町南有路) 土砂流出 延長30m



宇谷川 (舞鶴市桑飼上) 護岸一部損壊 延長10m



(府) 八幡城陽線 通称「流れ橋」 八幡市上津屋宮前川端 橋梁損傷 延長356m

砂防堰堤の整備により、土石流被害を回避 たにごがわ 谷河川(福知山市)



平成30年7月豪雨により、 一級河川谷河川の右岸斜 面で地すべりが発生し、天 然ダムが形成された。

天然ダムの決壊により人 家、国道、鉄道への被害発 生が想定された。

災害関連緊急砂防事業予算 などにより、令和2年度に砂防 堰堤が完成。

引き続き国土強靱化5か年加速化対策予算などを活用し、 崩壊斜面の対策工を実施中。





令和5年台風7号においては、砂防堰堤の整備により、流出した土砂を捕捉 し、下流への土石流を回避し、被害発生を防止した。





令和5年 台風7号後



河道掘削や樹木伐採により、内水被害を回避 由良川水系牧川(福知山市)





撮影提供:近畿地方整備局

平成30年7月豪雨に よる大雨で、牧川沿 川(※)において内水 により、79戸の家屋 浸水被害が発生。

※由良川本川との合流点付近

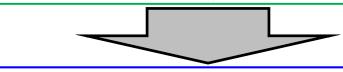


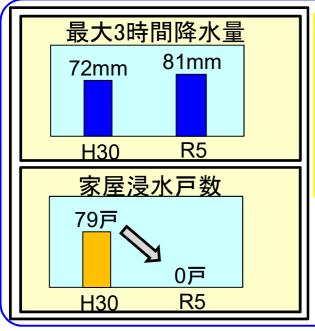




国土強靱化3か年 緊急対策予算を活 用し、令和元年~2 年度にかけて、河 道掘削や樹木伐採 を実施。

(由良川本川及び牧川との合流点付近の河川整備は国が実施)





令和5年台風7号においては、最大3時間降水量が、平成30年7月豪雨を上回ったものの、河道掘削や樹木伐採により河道断面が増え、最高水位を避難判断水位以下に抑えられ、内水被害の防止に寄与した。



河道掘削等により、家屋浸水被害を回避 伊佐津川水系伊佐津川(舞鶴市)





平成25年台風18号 による大雨で、伊佐 津川沿川において 76戸の家屋浸水被 害が発生。

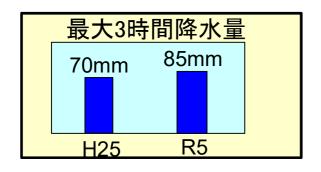


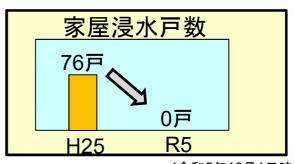




総合流域防災事業、 国土強靱化予算を 活用し、平成26年度 から集中的に河道 掘削等を実施。

令和5年台風7号においては、最大3時間降水量が、平成25年台風18号を上回ったものの、河道掘削等により河道断面が増え、家屋浸水被害の防止に寄与した。





(令和5年10月1日時点)

緊急浚渫により、溢水を回避 由良川水系上林川(綾部市)

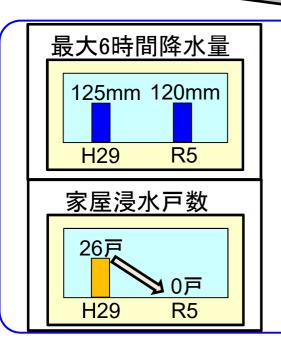




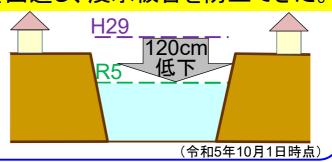
平成29年台風 21号において、 上林川からの溢 水により、 26戸の家屋浸 水被害が発生。



令和2~4年度にかけて、緊急浚渫事業を実施し、土砂13,000m³を除去。



令和5年台風7号においては、最大6時間降水量が、平成29年台風21号と同程度であったものの、浚渫を行ったことにより水位上昇が抑えられたため、溢水を回避し、浸水被害を防止できた。



イメージ図

河道掘削や河道拡幅等により、内水被害を回避野田川水系野田川、加悦奥川(与謝野町)





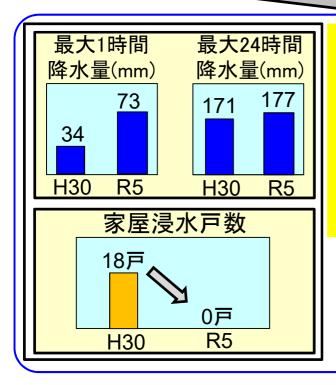
平成30年7月豪雨に よる大雨で、野田川 水系の沿川において、 18戸の家屋浸水被害 が発生。

撮影提供:与謝野町

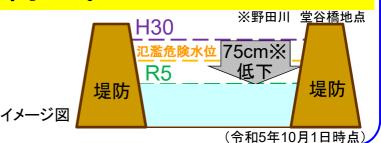




国土強靱化3か年 緊急対策予算、5か 年加速化対策予算 を活用し、令和元年 度から集中的に河 道掘削、河道拡幅 等を実施。



令和5年台風7号においては、最大1時間降水量が73mmとなる等、平成30年7月豪雨を上回ったものの、河道掘削、河道拡幅等により河道断面が増え、最高水位を氾濫危険水位以下に抑えられ、内水被害の防止に寄与した。



河川改修や排水機場の整備により、浸水被害を回避 由良川水系弘法川(福知山市)



平成26年8月豪雨を受け、国·府·市の3者が連携して浸水対策事業に着手。府事業としては、弘法川などの河川改修·調整池·排水機場等を整備し、床上浸水対策が令和2年度に概ね完了。

引き続き、令和3年度から、国土強靱化5か 年加速化対策予算を活用し、河川改修を実 施中。

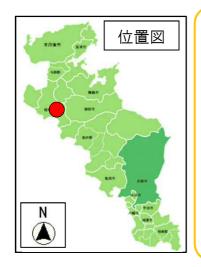






令和5年台風7号においては、河道断面の拡大と排水能力の 向上により、弘法川沿川において浸水被害を回避。

道路嵩上げ、堤防強化により由良川増水時の防災機能が向上 国道175号下天津(福知山市)



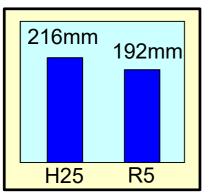


平成25年台風18号 や平成30年の7月 豪雨の大雨により、 由良川から越流し、 下天津地内におい て、道路の冠水が 発生。

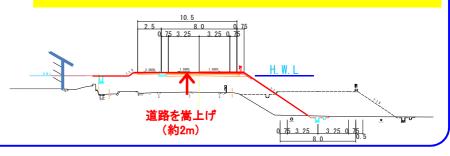


国土強靱化5か年加速化対 策予算などを活用し、 道路嵩上げを実施(H28~) 令和5年度中に、 下天津地内の事業完了予定

最大24時間降水量 (福知山)



令和5年台風7号においては、平成25年台風18号に近い降雨量があったものの、由良川の堤防強化の効果もあり、 道路の冠水を回避することができた。



道路嵩上げ、堤防強化により由良川増水時の防災機能が向上 府道舞鶴福知山線二箇(福知山市)





平成25年台風18号 の大雨により、由良 川が溢水し、 府道舞鶴福知山線 の冠水が発生。



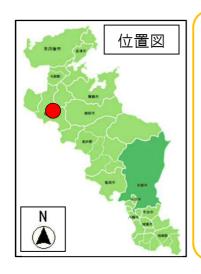
防災安全交付金などを活用し、 令和5年2月に最大約1.5mの 道路嵩上げ工事が完了。



令和5年台風7号においては、平成 25年台風18号と同程度の降水量で あったが、由良川の堤防強化の効果 もあり、冠水を回避することができた。



バイパス整備、堤防強化により車両及び歩行者等の安全確保 舞鶴綾部福知山線川北~猪崎(福知山市)





平成25年台風18号 や平成30年の7月 豪雨の大雨により、 由良川から越流し、 川北地内において、 道路の冠水が発生。



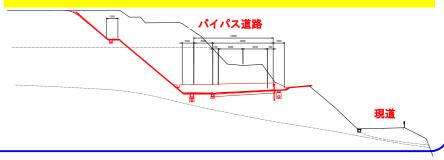
国土強靱化5か年加速化対策予 算などを活用し、 現道山側にバイパス道路を整備

早期完成に向け、事業を推進中

最大24時間降水量 (福知山)



令和5年台風7号においては、平成25年 台風18号に近い降雨量があったものの、 由良川の堤防強化の効果もあり、道路 の冠水を回避することができた。



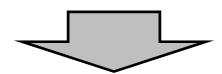
法面対策により、緊急輸送経路を確保 国道173号大原(福知山市)





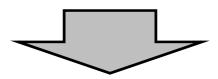
平成29年10月の台風21 号の豪雨により、斜面が崩 れる兆候を確認。

道路の通行規制を行った。





防災・減災、国土強靱化のための5か年加速 化対策の予算などを活用し、令和3年3月に、法 面対策(グラウンドアンカーエ)が完了。





令和5年台風7号においては、着実に進めてきた法面対策により、法面の崩壊が抑えられ、当該路線の緊急車両の通行を確保でき、府民の避難路が確保できた。

トンネル整備により、安全・安心で円滑な交通を確保 国道429号榎峠バイパス(福知山市)







【狭い道路幅員】

【冬季積雪状況】



令和2年度より事業着手。 令和8年度の完成に向けて事業 を推進。

令和5年度は、国土強靱化5か年 加速化対策予算を活用し、府県を 跨ぐトンネル工事に着手予定。



バイパス整備により、

- ・円滑、安全な通行の確保
- ・地域間交流の促進に寄与
- ・緊急時のネットワーク機能を向上

